

■**斎藤秀三郎** **留学もせずに英語の達人，正則英語学校を創立し，英文法，英語教育の基礎確立，英語国でない諸国にも影響。**
さいとう ひでさぶろう
薩長同盟・・1866＝ 現在の宮城県仙台市で，仙台藩士斎藤永頼の長男に生まれる。

明治維新・・1868＝ 2歳：
のち宮城県庁学務課長となる謹厳実直な父の影響を受けて育ち，

廃藩置県・・1871＝ 5歳：仙台藩の英学校{辛末館}に入学。

明治6年政変 1873＝ 7歳：
佐賀の乱・・1874＝ 8歳：宮城英語学校(宮城中学校と改称)に入学し，米国人教師C. L. グールドに英語を学ぶ。
初の民間工場1875＝ **9歳**：
日本人一般が学習する国漢学の教育を全く受けないまま，

琉球処分・・1879＝13歳：卒業。早くも上京して，東京大学予備門入学，
・・・・・1880＝14歳：工部大学校(東京大学工学部)に進み，純粋化学，造船を専攻。

明治14年政変1881＝15歳：
後に夏目漱石の師となるスコットランド人教師ディクソンに英語を学び影響を受ける。また，図書館の英書は全て読み，大英百科事典は2度読んだ，という逸話も。頑固一徹，自ら持むところ篤い性格で，
岩倉具視没・1883＝17歳：優秀なエンジニアになる可能性があるにも拘わらず，工部大学校を退学処分となり，
秩父事件・・1884＝**18歳**：生活のためまず，「**スウィントン式英語学新式直訳**」を翻訳出版。
仙台に戻り，英語塾を開設(一番弟子は伝法久太郎で，学生の中に土井晩翠がいる)。

国民之友始・1887＝21歳：宮城尋常中学校講師，
初の対等条約1888＝22歳：とら子と結婚。第二高等学校助教諭となるが，主任教授ハーレルと衝突して辞任，岐阜中学校教諭，
帝国憲法発布1889＝23歳：

足尾鉍毒始・1891＝25歳：濃尾大地震に遭遇。地震嫌いとなり，生活に影響を及ぼすことになる。
大本教・・・1892＝26歳：校長から英語教員の資格試験受験を求められ，拒否し辞職。一時，長崎鎮西学院の講師となって，{ナガサキブレス}に執筆後，愛知県尋常中学校を経て，
郡司千島探検1893＝**27歳**：***処女作「English-Conversation Grammer(英会話文法)」を出版，ベストセラーとなり，のち自著の発行元になる出版社(興文社)社長とも出会う。**

日清戦争始・1894＝28歳：教授に昇任するが，
白馬会・・・1896＝30歳：神田錦町に「**正則英語学校を創立して校長となり，以後，ここを本拠に教育・研究，**
八幡製鉄始・1897＝31歳：生徒集まらず教師の給与にもことかいたことから，教授を辞任して講師に戻り，
子規句歌革新1898＝32歳：講師も辞任，***学習用の文法書として現在でも最良の書「Practical English Grammar」を出版後，特筆される辞書・文法書の編纂のほか，多くの教科書を執筆して日本の学校英語を形成して行く。**

Bushidou・・1899＝33歳：生徒も一気に3000人を超え，優れた講師も集まって，学校は羨望の的になり，
ピアノ国産化・1900＝34歳：新校舎落成直後火災で全焼するも，直ぐにそれより大きい校舎を建設して，世間を驚かす。前者の簡約版「New Text-Book of English Grammar, 2vols.」出版，
田中正造直訴1901＝35歳：**最も高度で精緻極めた文法書「Advanced English Lessons」出版，**
教科書疑獄・1902＝**36歳**：この年，秀雄(音楽教育家)が誕生。その簡約版「Higher English Lessons」出版。「**正則予備校を併設。**
外国人教員を採用する際，自らが試験官となって採否を決めるほど自信を持っていた。

日露戦争始・1904＝38歳：翌年につけて，文科大学に出講。「**以後3年かけて「Monograph on Prepositions(前置詞大完・13巻)」刊行，**
日露戦争終・1905＝39歳：以後4年かけて「Class-Books of English Idiomology(10巻)」刊行，
満鉄発足・・1906＝40歳：「Studies in English Idioms(斎藤英語慣用語法学例文集・9巻)」。
韓国反日暴動1907＝41歳：「New Higher English Lessons」，
アララビ創刊・1908＝42歳：準機関紙{英語之日本}創刊。

伊藤博文暗殺1909＝43歳：斎藤英文法シリーズ最後の大作「Studies in Radical English Verbs(基本動詞大典・8巻)」刊行中，
大逆事件判決1911＝**45歳**：
明治天皇没・1912＝46歳：「**「正則英語学校講義録」の経済的失敗で{興文社}との絶縁となり，財政的に逼迫したため，この頃，酔って帝劇に行き，日本公演中のシェークスピア劇団の俳優の発音が間違っていると英語で野次を飛ばし，係員から退去を要請されたという。**

21ヶ条要求・1915＝49歳：勲五等瑞宝章。***自らの研究の集大成で，最後に取組もうとしていた「熟語本位英和中辞典(Saito's Idiomatic English-Japanese Dictionary)」を出版，当時のままの体裁で，現在も出版販売されている。**

大暴落・・・1920＝**54歳**：
原敬首相暗殺1921＝55歳：
水平社結成・1922＝56歳：最も簡潔にまとめた「携帯英和辞典」を出版，大著「斎藤和英大辞典」の編纂も進行，
関東大震災・1923＝57歳：大震災で，印刷所とともに原稿も焼失するも，直ちに新たな稿を起し始め，

共産党事件・1928＝62歳：「**斎藤和英大辞典**」出版に漕ぎつけるが，直腸がんとなり，温泉で療養後，手術して一時良好となるも，
世界恐慌・・1929＝**63歳**：***「斎藤和英大辞典」完成祝賀会での挨拶を最後に，「熟語本位英和大辞典」未完のまま，没した。3年後に前置詞の網羅的研究「Monograph on Prepositions」が記念出版される。**